



「ガザ・ウクライナに平和を」即時停戦を
求める市民集会が島原市と長崎市で開催！



入管法は「改悪」でなく「改正」へ
命と人権を守ることに国籍は関係ない



教育を変えよう！みんなで作戦会議
子どもも親も若者も議員会館に集合



「被爆者問題議員懇談会」の国会議員団で
厚労副大臣へ要請「被爆体験者は被爆者だ」



元高校生平和大使の大学生が外務省へ
「核兵器禁止条約」参加を求め署名提出



給食を無償化、そしてオーガニックへ
長与町で食育をテーマに座談会



長崎空港近くの大村湾で清掃活動
大村市の『ガラスの砂浜』を未来に残そう



コロナ後、地域の行事が久々に再開
敬老会や運動会で笑顔あふれる交流



国政報告会や対話集会を各地で開催中
あなたの声が当たり前に届く政治を

岡田克也幹事長、諫早に来たる！

政治家による演説会でなく市民参加型の対話集会。
一方的に話すのではなく、参加者の皆様の声を聴き、
お応えする。双方向の白熱の60分でした。

お一人お一人の声を大切にする政治。一緒に声を
上げて、「もっと良い未来」をつくりましょう！



号外

2024.01.01

No.06

立憲民主

立憲民主編集部 〒101-0014
東京都千代田区永田町 1-11-1
三宅坂ビル7F
Tel. 03-3595-9988
Fax. 03-3595-9088

からちゃん News

衆議院議員 山田勝彦

国会や地元長崎での日頃の活動をお伝えします。
政治をもっと身近に。そんな想いで発行しています。

1979年7月生まれ／大村高校卒業／法政大学卒業／2003年～会社員
2009年～国会議員秘書／2013年～株式会社やまびこ学苑 設立(障がい福祉・農業)
大村市で妻と息子の3人暮らし 趣味：野球 好きな時間：息子とキャッチボール



地域の皆様へご挨拶 2年間の活動報告と3年目への想い

第212回国会が閉会し、おかげ様で衆議院議員として約2年間務めさせていただきました。国会での質問回数44回、法案提出18回と地元長崎県の皆様の声を国政へ届け、必要な政策を訴えて参りました。また、立憲民主党青年局事務局次長、多文化共生社会プロジェクトチーム事務局次長、島政策プロジェクトチーム事務局長、政調会長補佐などの党務に加え、35の超党派議員連盟に参加し、特に「オーガニック給食を全国に実現する議員連盟」「被爆者問題議員懇談会」「北東アジア非核兵器地帯設置をめざす国際議連」「公共事業のチェックとグリーンインフラを進める会」では事務局を務め、会の企画・運営を担っています。

答えは現場にある！国会会期中も週末は必ず地元に戻り、各地域の皆様との対話を大切に、現場の声を国会に届けることを心掛けています。3年目も徹底した現場主義を貫き、新長崎2区の各地で活動して参ります。どうか変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

衆議院議員 山田勝彦

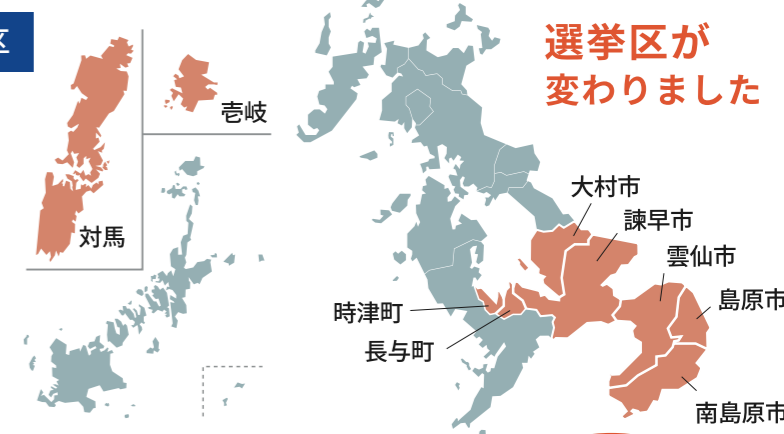


第208回国会 三つ星議員に 表彰されました

「議員の発言・質問回数」、「議員立法の回数」、「質問主意書の提出件数」を集計し、高スコア議員として、713名の国会議員から14名が「三つ星議員」に選ばれました。

新長崎2区

- ・対馬市
- ・壱岐市
- ・大村市
- ・諫早市
- ・時津町
- ・長与町
- ・雲仙市
- ・島原市
- ・南島原市



選挙区が 変わりました

YouTube

山田カッチャンネル

国会質疑を
ご覧になれます。



SNS 情報

お友だち登録をお願いします。
ご意見・ご質問もお受けします。



公式LINE



山田勝彦 検索



@yamabiko719

立憲民主党長崎県第2区総支部
山田勝彦事務所

〒856-0805 長崎県大村市竹松本町 859-1

TEL: 0957-46-3788 FAX: 0957-46-3789

国会事務所: 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館401号室 TEL 03 (3508) 7420

✉ info@cdp-nagasaki.jp

🌐 www.yamada-katsuhiko.com

1 「政治とカネ」金で動く政治から 国民の声で動く「まっとうな政治」へ

国民は増税、自民は脱税。多くの長崎県民の皆様の怒りを込め、同志の議員と共に「内閣不信任決議案」を衆議院に提出しました。

長引く物価高に、多くの生活者が苦しんでいます。特に地方にとって、車は生活必需品です。私たち立憲民主党は、トリガー条項を発動し、ガソリン価格を25円値下げすべきだと訴え、法案も提出しています。しかし、岸田政権はガソリン代の高騰対策として、石油業界へ6兆円以上の補助金を続け、石油連盟から自民党へ5,000万円の献金がされています。一体どこを向いて

政治をしているのか？自民党派閥の「裏金問題」に象徴される「政治とカネ」こういう政治を変えないといけません。立憲民主党は企業団体によるパーティー券の購入禁止が含まれた「企業団体献金を全面禁止する法律案」を既に国会へ提出しています。徹底した政治改革に取り組み、生活者の視点から「まっとうな政治」を進めます。



内閣不信任決議案 衆議院に提出

今こそ 政治改革を

2

「旧統一教会 被害者救済法」野党を代表し国会質疑 被害者の救済に与党も野党も関係ない

旧統一教会は、日本の大切な家庭を破壊して崩壊させました。せめて、その方々が奪われたものをできる限り取り返す。そのための法案を成立し、多くの方が救われることを願い、議場に立ちました。被害者団体やその弁護団の方々は「与党案も野党案も両方成立して欲しい」「被害者救済に財産保全法は必要である」と訴えていました。しかし、野党案は否決されました。与党が私たちの「財産保全法」を採用しない理由は、理由になりません。

①憲法違反の疑念→予算委員会で法制局長が答弁したように合憲です。

②前例がない→旧統一教会による被害こそ前例がなく、その救済にこれまでにない法律が必要なのは当然です。多くの自民党議員が、旧統一教会から選挙応援や献金を受け取り、その見返りに、関連団体のイベントへ出席し祝辞を述べる等し、教団の活動に長年お墨付きを与えて来ました。しかし、これは自民党だけの問題ではありません。安倍元総理銃撃事件をきっかけに、旧統一教会の悪質な霊感商法による高額献金などの被害実態が明らかになりました。これは**40年以上にも及ぶ政治的不作為の結果**といえます。だからこそ、私たち立憲民主党は、**被害者の救済に全力を尽くすため、解散命令請求が出された旧統一教会の財産を保全できる「財産保全法」を提案**しています。

一方、自民党は、被害者が個別に保全手続きを進めるための支援強化を主張しています。これに対し、被害者は「**いち個人が強大な統一教会と裁判するのは無理だ。被害者のほとんどが、家庭崩壊に追い込まれ、身も心もボロボロ。個人で裁判してくれというのは、余りにも酷だ**」と訴えられています。被害者の自助努力に任せた個別の民事保全だけでは、多くの被害者は救済されません。

法案審議前、教団側から自民党議員に FAX で送られた要望内容に驚きました。「野党の財産保全は信教の自由や財産権を侵害し憲法違反だ」「財産保全は民事保全法による手続きで十分だ」これは国会での与党側の主張とまるで同じでした。**自民党は、旧統一教会との関係を断ち切れているのか？**強い疑念が残されました。私たちはあきらめません。引き続き、「財産保全法」の成立を目指します。

立法府は 救えるのか



法務・文科・消費者連合審査会

4

「オーガニック給食を全国に実現する議員連盟」が設立 国会で法改正を視野に入れた本格的な議論がスタート

全国の小・中学校でオーガニック給食を広めるため、与野党を超え多くの国会議員が集結し、会場は熱気に溢れていました。私はこの議連を立ち上げるための事務局を担い、当日は進行役を務めました。

学校給食をオーガニックに変えていく！今、日本中の多くの人たちがオーガニック給食を広げていく活動に参加しています。なぜなら、給食をオーガニックにすることは、**地域の農業を支え、食料自給率を上げ、環境**

を守り、私たちの身体を健やかに育み、雇用や経済までも豊かに変えることができる最善の方法だからです。そして、持続可能な社会をつくり、次世代へ伝えていくことこそが、私たち大人から子ども達へのギフトに他なりません。**子ども達のためによりよい未来を残したい。**本議員連盟は、このような流れや思いを受け、全国の小・中学校でオーガニック給食が実現されることを目的として設立されました。大きな一歩を踏み出すことができました。全国各地で取り組む皆様と手を繋いで、**夢をカタチ**にしていきます。



大久保諫早市長、園田大村市長へ
市民と一緒にオーガニック給食を要望

子ども達の 未来のために



超党派の国会議員 49 名が参加

3

「もう限界だ」この声が国に届いているのか？ 農林水産大臣へ畜産の危機を救う緊急提言

今回の物価高、畜産農家の皆さんにとって大変な苦境が続いています。長引く円安、輸入に依存する飼料価格の急騰、そして子牛価格の暴落、さらには販売価格の低迷。すでに多くの方が廃業。もしくは、廃業を検討している状況です。**この現場の悲壮感や危機感が、農水大臣に伝わっているのか？**畜産農家を救うための政策を訴えました。

金融支援について。すでに、農水省から全国各地の JA グループや各金融機関へ畜産経営者に対し、既存の貸付金の返済猶予などの金融支援を求める公文書が通知されています。しかし、現場の生産者にその情報が全く届いていない問題を指摘しま



長崎県南家畜市場で切実な声を伺う

した。農林水産大臣からは、**農水省をあげて金融支援に取り組み、周知徹底に努めると答弁がありました。**その他、市場価格の暴落で赤字となる分を補填する制度を地域の实情に合わせ、セーフティネット機能を強化すること、さらに、飼料高騰対策の補填額の大幅な引き上げを訴えました。

私たちは食べることでしか生きていけません。**生産者の危機は、私たち国民の食糧危機そのものです。**これからも日本の食と農業を守るため、生産者の声をまっすぐに届けます。

政治の力が 今、必要だ



農林水産委員会で質疑

5

深刻な人手不足 どうする？日本 技能実習生の制度改革で外国人から選ばれる国へ

私たちの国は人口減少社会に突入し、農業、介護、建設などあらゆる分野で深刻な人手不足です。少子高齢化が加速する日本の経済社会を維持していく上で、**外国人の方々の労働力は絶対に必要です。**そのような中、政府は「**現行の技能実習制度を廃止し、人材確保と人材育成を目的とする新制度の創設**」という大きな方向性を示しました。その流れを受け、国会でも本格的な議論が始まり、法務委員会で法務大臣へ制度改革を訴えました。

南島原の農家さんを訪ね、そこで働くベトナム人技能実習生の方々から話しを伺うことができました。今の日本の制度で変えて欲しい点はありますか？**「ベトナムの私の友達たちは、本当は日本に来たいと思っている。でも最初に 100 万円くらいお金が必要で、そのお金がなくて日本に来れない」**まさに当事者の生の声です。大きな借金を抱えて日本に来る実習生、またはその借金ができずに日本に来たくても来れない外国人が存在しています。先ず最初の入り口であるこのハードルを解消していかなければなりません。政府は、どのような対策を行うのでしょうか？

法務大臣からは「**現在、14 カ国と 2 国間取り決めをつくっている。不当に高額な手数料を徴収するブローカーなどの不適正な事案には、政府間の協力を強化し、厳正に対処する**」と言う主旨の答弁がありました。

また、受け入れ先企業の経営者からも話しを伺いました。「**本来であれば実習生に時給 1,500 円くらい払っているけど、実際には最低賃金くらいの時給になってしまう**」理由を尋ねると「**住環境などの初期投資だけでなく、監理団体へ実習生 1 人に対し毎月 2 万の監理費を払っている**」と言われました。

多額の借金を抱えて日本に来る。最低賃金レベルの給与から借金返済を強いられ、生活苦に陥っていく。生きるためにより稼げる環境を求めて、逃げ出す。オーバーステイになり在留資格がなくなり、入管庁へ収容される。この負のスパイラルを産まない有効な対策が、**実習生や受け入れ企業の費用負担の軽減**です。この改革により、**外国人との真の共生社会**が実現されるよう、現場の声を大切にしながら積極的な政策提言を続けます。

外国人との 真の共生社会へ



日本で働く技能実習生から話しを伺う